



秋桜(コスモス) : 東温市井内

## 医師の働き方改革について

今年の夏は猛暑よりひどく酷暑の状態です。台風もこの秋の襲来が気になるところですが、体調管理はいかがでしょう。コロナも5類になり夏場増加し、やや重症化する患者さんが増えている様子です。今後も注意が必要です。

さて今年度から病院の医師の働き方改革が規則となり、2024年4月から勤務医にも時間外労働の上限規制が適用され、勤務医の健康を確保するためのルールが導入されています。十分な睡眠が取れずに連続して勤務する時間が長くなると疲労が蓄積し、注意力の低下などによる医療ミスへのリスクも高まります。適切な雇用管理を通じて、働く医師の健康を守りながら地域医療体制を守っていく必要があります。

当院はA水準で960時間の時間外労働は認められてはいますが、なるべくオンオフをはっきりさせて休むようにしています。そのため夜間土日主治医対応ではなく、当直日直対応や各科のグループ診療で主治医が呼び出されることは避けています。代診の先生では患者さんが、不安や不信感を感じることもあるかと思いますが、ご理解及びご協力をお願いいたします。

当院は救急医療として貢献している地域に根付いた医療や国立病院時代からの政策医療を柱に今後とも頑張っておきたいところです。そのためにも医師の働き方改革にご理解をお願いいたします。

副院長 久保 義一

# 東温市 健康フォーラム 2024

## 「南海トラフがやってきた・そのとき」▶東温市の災害医療◀

9月15日(日)、東温市中央公民館において、「東温市健康フォーラム2024」が東温市医師会・東温市歯科医師会・愛媛医療センター・愛媛大学医学部・東温市・愛媛県病院薬剤師会・松山薬剤師会の共催で開催されました。

今年は防災に主眼を置いて「南海トラフがやってきた・そのとき ▶東温市の災害医療◀」をテーマに、特別講演や各種イベントが催されました。

メインとなる特別講演では、まず、東温市に本社を置く、株式会社キシモトの岸本賢治専務が、「宇宙一の干物をめざして」と題して宇宙食の開発秘話や苦労譚について講演しました。続いて、愛媛大学医学部の竹葉淳教授が、「南海トラフ巨大地震が来た、その時！？ -能登半島の災害支援を通じて-」と題して、能登半島地震の際DMATとして出動したときの体験をベースに、日頃からどう備えておくべきか講演しました。

イベントコーナーでは、毎年人気の「お菓子でおくすり作り」のブースには早くから長蛇の列ができていました。

また、今年のテーマに沿ったイベントとして、災害時の非常食体験(試食)が行われ、駐車場では、土石流の3D体感シアターの上映や、180ミリ毎時の豪雨が体験できる降雨体験等がありました。

当院からは、「エコーで自分の心臓を見てみよう」と題して、心エコーで自分の心臓の動きを見るという体験コーナーを設け、なかなか好評を博していました。

30度を超える暑い日ではありましたが、多数の来場者で賑わい、有意義な半日となりました。



お菓子でおくすり作り



降雨体験



AED体験



血管年齢測定

看護師  
池田 和也

当手術室は手術分野だけでなく内視鏡、心臓カテーテル分野での看護業務も担っており幅広い知識・技術の習得が必要とされます。そこで、今回インターベンションエキスパートナース認定試験を受講させていただきました。インターベンションエキスパートナースとはインターベンション治療に関して、高度な技術と専門的な知識を有する看護師に認められた資格です。この資格は日本インターベンショナルラジオロジー学会と日本心血管インターベンション治療学会が合同認定により認めた看護師専門制度です。

インターベンション治療とは、「低侵襲治療」「血管内治療」などとも呼ばれエックス線透視や超音波画像、CTなどを見ながら皮膚から針やカテーテルを経皮的に体内に挿入し治療を行います。そのため意識の

ある中での治療となることが多く不安の緩和や精神面のケアが求められます。インターベンションエキスパートナースとして患者への十分な説明や支援を行うとともに、チーム医療の中でリーダーシップを発揮し安全・安楽に治療が行え、患者、家族より信頼される看護が提供できるよう取り組んでいます。今後は、日々進歩するインターベンション治療の技術と専門的な知識をさらに習得し、スタッフの育成支援にも取り組んでいきたいと思っています。



認定証を手にする  
池田看護師(左)と鳥生看護師

看護師  
鳥生 理紗

当院の手術室では、手術だけでなく内視鏡、心臓血管系分野における看護業務を担っており、必要となる専門的な知識や技術が多岐にわたり求められます。今回取得した、インターベンションエキスパートナースとは、IVR学会(日本インターベンショナルラジオロジー学会)とCVIT(日本心血管インターベンション治療学会)から合同認定された看護師専門制度です。当院では、CAG(冠動脈造影検査)やPCI(経皮的冠動脈インターベンション)、BAE(気管支動脈塞栓術)などを行っています。日々の業務を行う中で、より専門的な知識や技術を身につけ、専門性の高い看護が提供できるようになりたいと思い取得しました。

エキスパートナースとは、まずは患者が

安心して安全な検査・治療が行えるよう十分な説明や声かけを行い、不安を軽減できるよう関わること。そして、医師の指示で動くだけでなく、検査・治療の進行をモニタリングしながら患者の全体像を把握し、次に必要になる物を予測して準備し、迅速に対応できることであると考えます。

インターベンションを受ける患者、その家族が当院で検査・治療をして良かったと思ってもらえるよう、日々の看護業務を大切に、さらにレベルアップできるよう取り組みたいと思います。また、自身で得た知識や技術をスタッフの育成にもつなげていき、全体の看護の質が向上するよう努めていきたいと思っています。

# 地域の輪



## ウエルケア重信訪問看護ステーション

### 繋がる地域医療連携

「訪問看護ステーション重信」は、平成9年6月に高齢者総合福祉施設ウエルケア重信の一事業所として開設し、旧重信町と旧川内町（現東温市）や松山市を中心に活動をしてきました。令和6年4月から「ウエルケア重信訪問看護ステーション」に名称を変更し、看護師6名、作業療法士2名、理学療法士1名の9名体制で業務にあたっています。

ご高齢の方やご病気を持たれている方にとって、在宅での生活を続けていくことは簡単なことではありません。私たちは、これまでに多くの利用者様とお会いし、お別れもしてきました。その中で学んできた経験こそが、価値ある財産であり最大の強みだと思っています。あるご家族の方から「みなさんのお陰で母を見送ることができました。そして介護を通して、私自身が変わることができました」と、お礼のお言葉をいただきました。在宅生活や介護の仕方、看取りに決まった形はありません。ましてや正解も間違いもありません。それぞれの形があり、その形に寄り添った支援をしていくことが大切だと考えています。

私たちは24時間体制で在宅療養をサポートし、必要時には主治医や病院と連携し、ご希望の際はご自宅での看取りまで対応しています。これからも地域に根ざしたサービスを、病気や障がいがあっても安心して生活できる、質の高い訪問看護とリハビリテーションサービスを末永く提供していきたいと思っています。



## 医心伝心

### 肺炎リハビリのおはなし

当院のリハビリテーション科において、比較的多い対象疾患として「肺炎」があります。肺炎は発症場所により市中肺炎（CAP）、院内肺炎（HAP）、医療・介護関連肺炎（NHCAP）に大別されますが、リハビリ対象になるのは医療・介護関連肺炎による方が多いようです。

中でも高齢で発症前からサルコペニアや低栄養を呈していたり、慢性呼吸器疾患、心血管疾患、神経疾患などを有していると誤嚥を契機に肺炎を発症することが多いと言われています。

肺炎に対しては一般的に抗生剤等を主体とした薬物療法が行われますが、入院高齢肺炎患者の退院時日常生活動作能力には入院日からの経口・経腸栄養開始日数や離床開始日数、リハビリ開始時の日常生活動作能力が関連すること等が論文等で示されており、入院後早期から栄養療法や口腔ケ

ア、離床を含めた呼吸リハビリテーションや、安全な食形態（ゼリー、とろみ食、きざみ食等）の選択を含む摂食・嚥下訓練等の非薬物療法を行うことも肺炎の改善には重要と言われています。

当院のリハビリ部門でも、個々の病状に応じて理学療法士・作業療法士により早期離床や排痰訓練、日常生活動作訓練、認知機能低下予防などを行い、嚥下機能に問題があれば、言語聴覚士により安全な経口摂取に向けて嚥下訓練や能力に応じた食形態の検討などを医師や看護師と連携しながら取り組んでおります。

これからも、肺炎で入院された方が、肺炎治癒後に、できるだけ元通りの生活が送れるように、私たちPT・OT・STもお手伝いをさせていただきます。



理学療法士長 濱田 麻紀子

# 医療安全管理 だより こんなことしています

## 誤認防止の取り組み

当院の誤認に関するヒヤリハット報告の要因の詳細は、「確認が不十分」であったことが多く、注射・与薬業務に関する報告は全体の半数を占めています。

医療安全部会、誤認グループでは、多職種のメンバーで、病院全部署のラウンドを行っています。このラウンドでは職員が正しい確認行動をとることができるか評価票を用いて確認しています。評価票の項目は、各部署で誤認が起こりやすい場面を想定した、具体的な内容にしています。例えば病棟看護師へ実施する項目では、注射・与薬業務場面を想定しています。薬剤の確認では、1.正しい患者 2.正しい薬剤 3.正しい目的 4.正しい用量 5.正しい方法 6.正しい時間の6つの確認項目があります。薬剤の準備から与薬実施までの各工程で、適切なタイミングで確認できているか、実際の場合を観察しています。また、看護部の医療安全推進委員会では、ラウンド結果を通して各部署へ指摘した事項に対して自発的に取り組めるような働きかけも行っています。

他にも、各病棟で発生した誤認のインシデントの報告を受け、患者誤認がどのタイミングで多く発生しているのか調査を行い、問題点を抽出し対策を検討しています。

入院された患者様はもとより外来を受診された患者様に安全な医療の提供ができるよう継続して取り組みを行っていきます。

副看護師長 森松 三代子

正しい患者  
正しい薬剤  
正しい目的  
正しい容量  
正しい用法  
正しい時間  
チェック中



## 彼女が白衣に着替えたら ふれあい看護体験

愛媛医療センターでは、ふれあい看護体験を7月31日(水)に開催しました。ふれあい看護体験は「将来看護師になりたい」「看護の仕事が知りたい」という学生さんを対象に県内の病院、福祉施設での体験を通して看護の仕事を知っていただくためのイベントです。当院では新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年にわたり時間や規模を制限しての実施でしたが、今年度は規模を拡大し1日を通して開催することができました。

参加されたのは将来看護師を目指す高校3年生の方でした。手術室の見学では、タイミングよく術前の手洗いやガウンテクニックを見学すること



ができ、ドラマでしか見たことのない光景に瞳を輝かせながら、看護師の説明を聞いてくれました。

病棟では小児の患者さんをしっかりと抱き上げ、目を合わせ嬉しそうに顔をほころばせていました。病棟看護師との交流会では「病棟体験で患者さんとふれあえたことがとても嬉しかった」「患者さんの命と向き合う大変な仕事だけど、改めて看護師を目指して頑張りたいと思いました」と話してくれて「実際に患者さんとふれあい、看護の心が芽生えるのだな」と改めて感じました。将来は看護学生として看護実習に来られる機会があるかもしれません。この体験がこれからの看護師への道を歩む力になることを祈っています。

当院では、病院見学やインターンシップも実施しています。興味のある方はぜひ愛媛医療センター看護部へお問い合わせください。

教育担当看護師長 鳥羽 真理子



## 絵手紙コンクール

5月12日は「看護の日」です。5月12日から1週間を「看護週間」とし、ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。看護週間は、「看護の心をみんなの心に」をテーマに、気軽に看護にふれて看護の心・ケアの心・助け合いの心を感じてもらえるよう全国でイベントを開催しています。

当院では、平成4年から、コロナ禍で地域の方々と触れ合う機会が制限されるなか、絵手紙で看護の心を通して患者さんや病院職員が思いを伝えたいと企画されました。

今年度も、絵手紙で「ありがとう」を伝えようとして、絵手紙を募り掲示を行いました。入院・外来患者さんや職員やその家族から80枚もの心温ま

る絵手紙の応募をいただきました。病院廊下に掲示した場所には、患者さんや職員が足を止め癒しの空間となりました。一番心に残った一枚を投票していただいた結果、たくさんの投票があり、最優秀賞1名、ほのぼの賞、銀河賞、桜満開の思い出賞、あざやかで賞、ナイチンゲール賞の6名を決定しました。



最優秀賞

た。受賞者には、院長、副院長、看護部長から表彰状と記念品を贈らせていただく予定です。

今回の絵手紙を通して地域の方々と心通わせる機会を得ることができました。看護の心を大切にしたい看護が行えるよう努めていきたいと思っております。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

看護師長 西本 美香



その他の受賞作品

## 四季燦餐 ～きのこの巻～

暑さも少しずつ和らぎ、秋の訪れを感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。秋の代表的な食材として挙げられるものには、「さんま」「さつまいも」「栗」「柿」などがありますが、今回は、「煮てよし！焼いてよし！」の『きのこ』についてご紹介します。

『きのこ』は、特定の樹木に発生したことから、木の子ども「きのこ」と呼ばれるようになったと言われています。「しいたけの椎」、「まつたけの松」など特定の木にしか発生しないきのこや、人々が集まって踊っている姿に似ていることから「舞茸」、地面を占領するほど辺り一面に生えることから「占地(しめじ)」と名付けられたものもあります。

栄養面では、食物繊維が豊富で、便秘の解消に必要な不溶性食物繊維と腸内の環境を整えてくれる水溶性食物繊維の両方を含んでいます。また、

カルシウムの吸収を促進してくれるビタミンDや余分な水分や塩分を排出する働きのあるカリウムも豊富に含まれています。カロリーはほとんどなく、ボリュームを出したい時のお助けにはGoodです。

調理の際は、すばやく加熱すると香りや歯ごたえが残ります。また、油も水分も吸収しやすいので、調味油はもちろんのこと、一緒に焼いた肉や魚の油や食材から出る栄養素やうまみも吸収してくれるため、他の食材と一緒にとると栄養が無駄なく摂取出来ます。

カロリーが気になる方だけでなく、お身体をよりよく維持したい方も毎日の食卓に、『きのこ』を取り入れてみませんか。

煮るか焼くかそれが問題だ



# 看護学校の頁 ～学び舎から～

## はじめての里帰り ホームカミングデー

看護学校は、今年度末で閉校になります。だからこそ、最初で最後にはなりますが、昨年度卒業した20期生を対象とした『ホームカミングデー』を、卒業生(新人看護師)同士や教員と悩みを共有・交流する場を提供し、卒業生の心身のリフレッシュや今後の活力となることを願って、7月26日と8月1日の2日間開催しました。

当日は、急遽欠席者もあり、参加できた卒業生は3名となりましたが、その分アットホームな雰囲気、卒業生から教員の新人看護師時代についての質問が出るなど、教員も当時の思い出に花が咲き、話題が膨らみました。

卒業生は新人看護師4か月目を経て、独り立ちすることでの責任の重さという壁や、夜勤が開始となり課題が見つかるなど、それぞれが抱えている悩みを共有し合いました。

印象的だったことは、みんな共通して、患者さんや家族さんとの関わりからの喜びや、日々成長しているような充実感から、看護っていいなあと感じることだと笑顔で話してくれたことです。

最後は、記念撮影とともに、教員からのメッセージを添えた色紙を渡し終了となりましたが、手を

振りながらも見送った3人の笑顔が、頼もしく眩しく輝いて見えました。

今回出席できないからと、別日に学校を訪れてくれた卒業生もあり、最後の卒業生となる21期生にも声をかけてくれ、21期生も歓迎する場面がありました。20期生の存在は、21期生と私たち教員の頑張る源です。しあわせを届けてくれた素敵な時間をありがとう。

教員 佐伯 香織



### ちよつと言い放し

愛媛医療センターニューズ編集委員の持ち回りでお届けします。

私はとつても食いしん坊です。美味しいものをいただくひとときは、しばし幸福感につつまれます。また、数年前の春に亡くなった親戚のおばちゃんと一緒に作った食べた、ヨモギ餅やお団子・山菜の煮物・漬物など、二度と食べる事ができませんが、思い出すと懐かしさで胸が一杯になります。

そんな私が、もう二度と口にしたいくないものがあります。思い出すだけで、じわっと汗が出る記憶。それは、大阪で食べた激辛カレー。大阪に就職した友人を訪ねて大阪観光をしました。昼食は、大阪の粉もん文化を堪能しました。夕方になり、「このカレーは、少し辛いけどとつても美味しいから」と言われて、エスニック感こてこてのお店に入りました。

席は満席状態で、人気のお店で友人が予約してくれていた事はわかりました。感謝しつつ、テーブルにつきましたが、周囲のお客さんの様子がなんとなく変なのです。隣のテーブルの人は顔から滂沱の汗状態、斜め前のテーブルのお客さんの背中が、小刻みに揺れていました。友人が「この店に来たら絶対これ、これがお勧め」というカレーを注文していました。そして、カレーが運ばれてきました。カレーのスパイスの香りが

店内に充滿していて、少し強めの香りがするな、とは思っていません。そして、一口パクリ。そのあとは、悲惨・後悔の連続でした。口の中は痛いし痺れるし、水を何杯飲んでも、口の中の状況は良くなりません。体中から汗がでるんだと痛感し、震えも治まらず数時間つらい状況が続きました。(ダメージは翌日も残りました)

友人は、激辛カレーを食べても、憎らしいくらい普通でした。「自分の方が十倍辛いカレー」と涼しい顔で言われ、お店のカレーを食べる時は、辛さの確認を必ずしましょう、とマイルールができた日でした。

友人は、今も激辛料理が大好きですが、私と食事する時は、旨辛まででお願いしています。あの時の私の様子は、今でも友人の笑いツボだそうです。私はとても大変だったのになあ。 エミエミ



# 外来診療担当医表

現在、当院では外来診察室の工事を行っており、診察場所が変更となる場合があります。  
診察場所について、ご不明な点があれば、医事受付窓口までお問い合わせください。

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	船田	関谷	岩田	関谷
		午後		堀江	船田		
消化器内科	9診	午前	古田	廣岡	久保	加藤	久保
		午後					
	11診	午前			加藤		
	12診	午前				奥平	
呼吸器内科	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	三好	伊東
		午後					田邊
	11診	午前		渡邊		仙波	
		午後					
	8診	午前					山本
		午後	三好				
脳神経内科	8診	午前				尾原	
	12診	午前	尾原	戸井			戸井
		午後	大八木				
整形外科	14診	午前				石川	
	15診	午前	宮本		青木	宮本	
	16診	午前	青木	玉井	石川		玉井
リハビリテーション科	15診	午前		曾我部			曾我部
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本		
		午後					石丸
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
小児科(神経外来)	14診	午後	菊池		桑原		菊池

専門外来(予約制)		月	火	水	木	金
心臓外科外来	16診					泉谷
ペースメーカー外来	16診				第2・4(午後)	
糖尿病外来	11診					蔭谷(第4)
フットケア外来	小児面談室				第1・3・5	
スキンケア外来	救外		第1・3(午前)			
ペインクリニック	12診			山内(午前)		
じん肺外来	16診					西村(第1午前)
アスベスト外来	14診		午後		午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13:30~)				
SAS外来	11診					渡邊(14:00~16:00)
頭痛外来	16診				永井(第2・4午前)	
神経難病	8診			橋本		
鼠径ヘルニア外来	14診		鈴木(午前)			
気胸外来	14診					湯汲(午前)
N T M 外来	8診			第2・4(13:30~15:30)		

※外来受付は8時30分から11時までです。ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。 2024年10月1日現在  
※SAS(睡眠時無呼吸症候群)・NTM(抗酸菌症)

## 独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251  
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解をいただいております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。